

豊後大野市

R7.1.1 住民基本台帳人口：総人口…31,998人 男…15,024人 女…16,974人 世帯数…15,506世帯
R7.1.1 総面積…603.14km² 公共施設数(令和5年度)：小学校…11校 中学校…7校
出典：令和7年度版 大分県市町村ハンドブック



川野 文敏 市長

大分県南部に位置する豊後大野市は、平成17年3月31日に5町2村が合併して誕生し、皆さまのお力添えにより本年、市制施行20周年を迎えることができました。この節目の年に「つながる、つなげる 豊かなまち」をスローガンに掲げ、豊かな自然、受け継がれてきた伝統や文化を、未来の豊後大野市へと着実につなげてまいります。今後も地域の発展と次世代への継承のため、企業の皆さまのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



寄付御礼

- ・贈呈式開催(寄付額100万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄付額100万円以上)
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー 6 観光客の誘致・地域PR

関係人口の創出

地域資源を未来に残し、地域の活力を維持していくため、地域内外から地域を支える仕組みづくりを行います。



カテゴリー 1 産業振興・企業誘致

人口減少社会への対策

人口減少の大きな要因の一つとなっている、若者の市外への転出超過を抑えるために、就労ニーズに対応した環境を整備し、地域での就業や起業につなげていきます。



豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (～2025年度)

持続可能な豊後大野市づくり

基本目標

1

「豊かならしとしごとを創る」

若者の市外への転出超過を抑えるために、就労ニーズに対応した環境を整備し、地域での就業や起業につなげます。

基本目標

2

「豊かなひとを育む」

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることや、高齢者が生涯現役で過ごせる環境をつくります。また、地域外からの新たなひとの流れをつくり、「ひと」の好循環を確立し、まちづくりを担う人材の確保・育成を行います。

基本目標

3

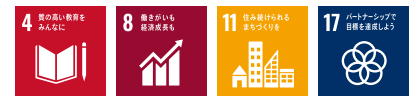
「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

地域資源を未来に残し、地域の活力を維持していくため、地域内外から地域を支える仕組みづくりを行います。



スポーツツーリズム推進プロジェクト

〈SDGs〉関連するゴール



- 総事業費 — 寄附目標額 9,000千円
- 数値目標 ●スポーツ合宿者数・・・8,000人

豊後大野市総合スポーツ施設を核としたスポーツ資源や観光資源等を活用し、スポーツ大会・合宿等の誘致及び開催支援等に取り組んでいます。今年度も引き続き、スポーツ振興による地域の魅力向上や交流人口の拡大等による地域経済の活性化に取り組めます。また、当市のスポーツツーリズムの拠点となる「多機能型武道場」の本年中でのオープンに向けて全力で進めているところです。



寄附の具体的なメリット

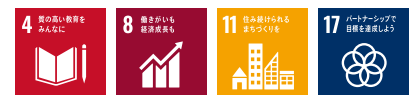
- ・10万円～の寄附 ●HP、広報誌、SNS等での企業紹介
- ・100万円～の寄附 ●市長との対談、報道機関へのプレスリリース

寄附申出書の事業名選択時は「スポーツツーリズム」を選択してください。



関係人口創出プロジェクト

〈SDGs〉関連するゴール



- 総事業費 — 寄附目標額 15,000千円
- 数値目標 ●新規事業創出数・・・7件

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様な形で関わる人々を指す言葉です。豊後大野市では、関係人口の交流拠点施設として『cocomio』を令和4年度にオープンしました。この施設を活用し、都市住民などの多様な人材と地域内人材の融合による関係人口創出の拡大、ローカルビジネススクールをはじめとした起業や事業創出の支援に取り組んでいきます。



寄附の具体的なメリット

- ・10万円～の寄附 ●HP、広報誌、SNS等での企業紹介
- ・100万円～の寄附 ●市長との対談、報道機関へのプレスリリース

寄附申出書の事業名選択時は「関係人口」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの大分銀行までお問い合わせください。